

# 実り豊かな 南九州市



南九州市長  
塗木 弘幸

平成19年12月1日に旧穎娃町、旧知覧町、旧川辺町が合併して「南九州市」が誕生して10周年を迎えました。

今日まで、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、旧3町の融和と一体感の醸成を主眼にまちづくりの施策を展開してまいりました。

この10年間では、銘柄統一をした「知覧茶」やさつまいもを中心とした農業、また、伝統工芸である川辺仏壇の技術向上や商工業の活性化、進出企業による雇用の創出など産業の振興が着実に実を結んできております。

本年3月には、南薩縦貫道が南九州知覧インターまで開通しました。

念願の交通大動脈が全線開通し、産業面だけでなく観光面や交流人口の増大が見込まれ、地域の皆様の明るく元気な活動と経済の活発化を大いに期待しているところであります。

一方、国内情勢は、グローバル化の急速な進展、本格的な人口減少や少子高齢化の進行など大きな変革期の中、社会

保障改革や財政再建、頻発する地震災害や水害からの復興や景気対策など様々な課題を抱えています。

本市においても、人口減少と少子高齢化、厳しい財政状況への対応は待ったなしの最重要課題であり、地方創生関連事業をはじめ、基幹産業である農業や観光、地場産業の振興、社会基盤や生活環境の整備、健康・福祉の向上や教育・文化の振興、定住促進などに、本市の魅力ある特性を活かしながら、スピード感を持って総合的に取り組んでいく必要があります。

これからも、10年間の歩みを基礎として、さらなる発展を目指し、「創造と活力に満ちた住みたくなるまち」の構築を、市民の皆さまとともに着実に進めてまいります。



# はばたけ 未来へ



南九州市議会議長  
蔵元慎一

南九州市合併10周年を迎えることができたのは、合併に携わってきた皆様や市の発展に寄与されてこられた多くの市民の皆様、関係者の皆様方のご尽力の賜物であると、改めて、敬意と感謝を申し上げます。

振り返りますと、県内で市町村合併が進む中、穎娃町、知覧町、川辺町は、それぞれ合併を模索しながら、最後にたどりついたのがこの三町合併でありました。

新市の議会は、24人の議員で新たなスタートを切り、当初から議会だよりを発行、平成25年度には、市民の負託に応えることや開かれた議会を実現するために議会基本条例を制定し、議会報告会や議会中継を行ってきました。

その間、議員定数を20人に削減するなど議会改革にも取り組み、一般質問や議案質疑など行政当局とは活発な議論を交わし、二元代表制の機能を十分に発揮しながら市政運営の一翼を担ってまいりました。

現在、人口減少対策や効率

的な行財政運営などが求められる中、次世代へ責任をもって引き継げるまちづくりの推進や各地で地震や台風、大雨による災害が発生していることから、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりの実現にお一層努めてまいります。

合併10周年という記念すべき大きな節目を迎え、市議会としまして、市民の皆様との連携を深め、市民の意思をより反映できるように尽力してまいります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

